

高度利用者向け緊急地震速報専用受信機

DPASS

Disaster ProActive Support System

日本製



放送設備等の外部機器も接続可能な新モデル

SH600-J

DPASSは、高度利用緊急地震速報を受信する専用端末です。

気象庁から発報される高度利用緊急地震速報の電文を受信し、いち早く端末設置場所までの到達時間と震度をお知らせします。揺れが到達するまでの予測震度・予測猶予時間を知ること、多くの人命や財産の安全に役立ちます。

自社国内開発・安心の日本製 [気象庁訓練報対応]

地震	津波情報	WEB画面 リモート設定機能
外部放送機器 連携	REIC・NHK音 対応	豊富な 報知パターン

地震到達の予測猶予時間を知らせる **DPASS SH600-J** で

こんな対策ができます!

危険な場所から避難



津波情報にも対応!!



施設内の放送機器等と
接続や連動が可能に



高度
利用

高度利用 緊急地震速報と 一般利用 緊急地震速報の違いとは?

高度利用者向けのDPASSと一般利用者向け(TV、ラジオ、携帯電話など)の違いはこんなにあります!

一般
利用

項目	高度利用の場合	一般利用の場合	DPASSのメリット
発報の タイミング	早い 地震情報を受けたら すぐ発報!	遅い 情報が正確になって から発報!	仙台市内の DPASS 端末 ● 2011年3月11日の三陸沖地震 (確定震度 [6弱]) 「震度 4 / 15 秒前」 ● 2011年4月7日の宮城県沖地震 (確定震度 [6弱]) 「震度 5弱 / 9 秒前」
発報震度	震度1から震度7まで 細かくお知らせ	震度5弱以上の地震で 震度4からお知らせ	テレビやラジオでは震度5弱以上の予測が なければ報知しない。
予測エリア	設置場所の震度を ピンポイントでお知 らせ	広い範囲でお知らせ 現在地状況と必ずし も一致しない	全国ネットでのTV・ラジオ放送の場合は、揺れ に関係のない場所にも放送されるため、受け 手側にとってはあいまいな情報となる。
死活監視	できる	できない	ドリームウェアデータセンターで受信機 が正常に接続されている常態に管理をし ています。



地震発生後、瞬時に各地域の予測震度・到達
までの猶予秒数を計算しカウントダウンを始め
ます。



地震発生後、あいまいな表現でテレビやラジオ
などを通してお知らせします。

■ 製品仕様

DPASS緊急地震速報受信端末 本体(親機)《SH600-J》		
名称	DPASS 緊急地震速報受信端末	
品番	SH600-J	
価格	オープン価格 ※緊急地震速報および津波情報を受信するには別途配線料がかかります。	
本体外形寸法	幅220mm×高さ69.2mm×奥行220mm(突起部除く)	
重量	1.9kg	
電源電圧	DC12V/ACアダプタ使用(出力: DC12V/1000mA以上)	
消費電力	待受2.0W 最大3.4W	
温湿度条件	操作時0~40℃/非動作時-10~60℃/湿度10~80%RH(結露なきこと)	
電文受信方式	IPv4インターネット常時接続環境でのTCP/IP方式	
出力	外部制御出力 (DO 1/2/3/4)	無電圧ループ接点出力(A接点,B接点 設定可能) 定格電圧: 38V/最大ピーク電圧: 60V 定格電流: 1000mA/最大ピーク電流: 1000mA
	内蔵音声出力 (SPEAKER)	2W
	外部音声出力 (LINE OUT)	RCA-MONO/出力電圧: 800mVp-p Max./100KΩ不平衡
	信号出力 (DEBUG)	TTLレベル
入力	電源 (POWER)	AC100V (50/60Hz)/DC12V-1000mA
	外部音声入力 (LINE IN)	RCA-MONO/入力電圧: 800mVp-p Max./100KΩ不平衡
	ネットワーク	10/100Base-T 配信サーバーとの通信ポート: 9001
	外部接点入力 (DI 1/2/3)	電圧ループ接点出力に対応/出力電圧: 5V/出力電流: 5mA
機能	発報震度レベル設定	気象庁震度階級 1~7の間で設定 ※接点出力(DO)に限りキャンセル報での動作選択も可能
	発報表現設定	詳細/曖昧1(カウントダウン)/曖昧2(カウントダウン)無
	発報履歴の管理	過去4件(震源地、端末発報内容がLCDから確認可能) 設定WEBから過去90日分の受信履歴確認可能
	端末動作確認テスト	震度レベル3段階(3/5強/7/猶予時間20秒固定) ループ 設定WEBから詳細テスト条件設定可能
	固定IPの設定	LCD画面及び設定用WEBから固定IP設定可能
	告知アナウンス設定機能	地震発報後、避難誘導音声の設定可能
	津波注意報・警報受信機能	津波注意報・警報受信可否設定が可能
	端末スリープ設定機能	指定した時間帯に端末の受信機能を停止することが可能
	LINE OUTディレイ機能	無し/1秒~10秒 選択
	外部出力(接点出力)設定機能	接点出力のディレイ/出力時間/出力方式設定が可能 ディレイ: 無し/100ms~900ms/1秒~10秒 出力時間: 無し/100ms~900ms/1秒~60秒 120秒/180秒/240秒/300秒/連続/AF連動 出力方式: 発報時出力/発報後出力
音声スルー機能	LINE IN音声をそのままLINE OUTへスルーパスする機能 緊急地震速報が発生した場合、LINE IN音声を遮断しLINE OUTから発報動作を行い、発報が終了するとLINE IN音声の出力を再開する機能	
表示/操作音	LCD部 (INFORMATION)	端末設定情報および電文受信内容を表示
	赤LED (POWER)	電源供給状態およびハードウェア接続状態の確認
	緑LED (STATUS)	ネットワーク接続状態および電文受信の確認
	ブザー	ボタンの操作確認音
接続コネクタ	電源	外径: 6mm/内径: 2mm
	LINE OUT	RCA ピンジャック
	LINE IN	RCA ピンジャック
	DG-SERIAL	φ3.5 4極ジャック
	DO	スクリューレス 3.5mmピッチ
	DI	スクリューレス 3.5mmピッチ
同梱内容	本体×1、本体滑り止めゴム足×4、壁掛けブラケット×1、 ブラケット固定用ネジ×5、壁掛け用ネジ×4、ACアダプタ×1、 LANケーブル×1、コード固定具×3、保証書×1、セットアップガイド×1	

■ DPASS導入イメージ



■ DPASS SH600-Jの主な特徴

- 高度利用緊急地震速報に加え、津波情報追加!!**
 - ◆ 緊急地震速報だけでなく、津波情報(大津波警報・津波警報・津波注意報)を追加。
- 豊富な報知パターン REIC・NHK音にも対応**
 - ◆ 従来の「詳細表現」、「曖昧表現」の2パターンに加え、曖昧表現ではカウントダウンを報知しないパターンを追加。冒頭の告知音では、NHK音の選択が可能に。
- 多彩な告知音声(43種類) 避難誘導音声の提供**
 - ◆ 地震報知終了後に「避難誘導音声」を追加。
「避難誘導音声」は様々なシーンに対応し、日ごろの避難訓練にも活用できます。
- 外部機器接続機能標準装備**
 - ◆ 外部接続端子を4端子標準装備。複数の外部設備への接続や連動が可能になりました。外部音声スルー機能を搭載した端子を装備。入力端子の少ない放送設備にも接続連動が可能です。
- リモートで設定が可能**
 - ◆ 本体への直接操作だけでなく、ネットワーク経由でWEBブラウザ画面からも設定が可能に。
- 既存ネットワーク回線に接続!! PROXYサーバー対応**
 - ◆ 既存のインターネット回線で利用可能なため、導入コストを低く抑えられます。
 - ◆ PROXYサーバー対応(SOCKS4, SOCKS5対応)
*インターネット常時接続環境(光・ADSL等)とルータもしくはHUBの空きポートが必要です。
- ソフトウェア・ハードウェアを国内自社開発、国内生産!**
 - ◆ 安心していただける品質を追求するために、ソフトウェアからハードウェアまで一貫して国内で自社開発。生産も国内で行っております。

SH600-J専用オプションサウンドユニット(子機)

離れた場所にも
同時にお知らせ



DPASS緊急地震速報受信端末 子機	
名称	オプションサウンドユニット
品番	SH600-J-S
価格	オープン価格
本体外形寸法	幅60mm×高さ60mm×奥行60mm(突起部除く)
重量	111g
電源電圧	DC6V ACアダプタ使用(出力: DC6V, 600mA)
消費電力	待受0.9W/最大2.8W
内蔵スピーカー出力	500mW×2
SH600-Jとの通信方式	FM無線方式(到達距離室内約30m・参考値)

※子機の作動には必ず親機(SH600-J)が必要になります。
※建物の構造によっては複数台の子機設置も可能です。



製造・販売元/ 配信事業者
株式会社 ドリームウェア
http://www.dreamware.jp/
E-mail: 1nf0@dpass.jp
(イチエヌエフゼロ)

■ お問い合わせ先